

# 議案17件・報告1件を可決

9月市議会定例会は、9月28日から10月25日までの28日間の会期で開かれました。この議会には、令和5年度一般会計補正予算をはじめ、議案17件・報告1件を提出し、いずれも原案どおり可決されました。その主なものを紹介します。

## 教育委員会委員に佐浦雅明さんを任命する」と同意

教育委員会委員の阿部昭光



佐浦雅明さん



熊田邦夫さん

さんが9月30日で任期満了のため、新たに佐浦雅明さんを委員に任命することについて、議会の同意がありました。任期は4年間です。



鈴木裕也さん



永野正一さん

行政管理課 (88)9120

## 佐浦雅明さんの略歴

長年にわたり小・中学校の教諭として奉職。退職後は、第一中学校で再任用教諭として勤務され、令和5年4月から、同校の部活動指導員として引き続き指導しています。

## 固定資産評価審査委員会委員に熊田邦夫さんを選任

固定資産評価審査委員会委員の熊田邦夫さんが9月30日で任期満了のため、引き続き委員に選任することについて



五十嵐伸議員

て、議会の同意がありました。任期は3年間です。

## 熊田邦夫さんの略歴

長年にわたり須賀川信用金庫で勤められ、退職後は、須賀川ふるさと創生倶楽部合同会社事務局長などを務められました。現在は、すかがわの魅力を発信する副会長を務めており、固定資産評価審査委員会委員は3期目です。

## 人権擁護委員の候補者に2名を推薦

人権擁護委員の鈴木裕也さん、佐藤健則さんが12月31日で任期満了となるため、鈴木裕也さんを引き続き、永野正一さんを新たに委員に推薦することについて、議会の同意がありました。任期は3年間です。

## 鈴木裕也さんの略歴

弁護士登録された後、弁護士法人あさか法律事務所での勤務を経て、須賀川法律事務所を開業しています。人権擁護委員は、現在3期目です。

## 永野正一さんの略歴

須賀川市に奉職され、都市整備課長、建設部長を歴任さ

れました。退職後は、公益財団法人須賀川市スポーツ振興協会に3年間勤められました。

## 監査委員に五十嵐伸議員を選任

市議会議員から選出される監査委員として、五十嵐伸議員を選任することについて、議会の同意がありました。任期は4年間です。

## 五十嵐伸議員の略歴

岩瀬村議会議員を務められ、市町村合併後は、須賀川市議会議員として6期目です。その間、須賀川市議会議長をはじめ、副議長、議会運営委員会委員長などを歴任しました。また、平成10年2月から市消防団副団長を務められています。

## 長沼財産区管理委員に7名を選任

長沼財産区管理委員が9月30日で任期満了のため、後任委員7人の選任について、議会の同意がありました。任期は4年間です。

## 地球温暖化対策

# 目指すべき未来のために



環境課 (88)9130

## 地球温暖化とは

地球の気温は太陽から送られてくる熱を吸収し、その一部を宇宙へ放出することで、ほどよく保たれています。しかし近年、二酸化炭素などの温室効果ガスが大量に大気中に放出されることで、地球が熱をためこんでしまい、気温が上昇してきています。この仕組みを「地球温暖化」と呼びます。

## 地球温暖化の背景と影響

地球規模でみると18世紀の産業革命以降、石油や石炭などの化石燃料を多く消費するようになり、大気中に多くの温室効果ガスが排出されるようになりまし。日本でも高度経済成長期以降、温室効果

ガスの排出量が年々増加してきました。このまま地球温暖化が進むと、2100年の気温は1986年〜2005年の平均気温と比べて最大4・8℃も上昇すると予想されています。日本でも猛暑日が増え、熱中症患者などの増加や、海水温度の上昇に関連した台風や豪雨による水害発生のリスクも増えていきます。

## 市が推進する取り組み

地球温暖化防止のため、公共施設への太陽光発電設備や省エネルギー設備の導入、家庭用の再生可能エネルギー等



洗濯物をまとめ洗いして省エネ

## 9月補正予算

### 一般会計に8億5,627万8千円を追加

今回の補正により、一般会計の予算総額は、358億601万9千円となりました。主な内容は、次のとおりです。

- ▶地域食堂等活動支援補助金 250万円
- ▶利用者の安全・安心確保のための介護老人福祉施設整備事業 407万円
- ▶地域活性化のための牡丹台アメニティ地区整備事業 900万円
- ▶風評に打ち勝つ園芸産地競争力強化事業 3,626万5千円
- ▶空き工場等活用支援事業費補助金 500万円
- ▶舗装修繕及び堆積土砂撤去等を行う市道維持管理事業 1,750万4千円

詳しくは、市ホームページをご覧ください。



補正予算の概要

財政課 (88)9121

## 家庭でできること

家庭からの二酸化炭素排出量を削減するためには、無駄

なエネルギーを使わないように、省エネ活動を心掛けることが重要です。例えば、暖房の設定温度を1℃下げる、テレビを見ないときは消す、洗濯物はまとめて洗うなど、家庭で簡単に取り組むことができます。

一人ひとりが地球温暖化への問題意識を持ち、実践することで、二酸化炭素排出量が削減できますので、小さなことからコツコツと始めていきましょう。